



2022年6月6日

令和4年度通常総会に関する理由書 その1

公益社団法人 日本山岳会
会長 古野 淳 殿

日本山岳会会員 加藤真美
(会員番号 16472)

来たる令和4年度通常総会にて、書面による議決権を行使するにあたり、第1号議案について「否」とした理由は下記の通りです。

記

理由1. 事業の対象が広く会員に募集されていない懸念がある。

令和4年度通常総会（資料）23ページによりますと、「IV-1 会員向け事業＜山行、安全講習など＞①」の YOUTH CLUB 委員会に対する事業内容のうち、「3月、WV 部員を対象に、雪崩講習会を谷川岳で実施」および「2月、青年部員対象にアイスクライミング講習会を予定したが、外部委託した講師の不調により中止となった」について、WV 部員や青年部員全員に対する企画および募集の公平性及び意義性が不明であることから、賛成できません。

以上

2022年6月6日

令和4年度通常総会に関する理由書 その2

公益社団法人 日本山岳会
会長 古野 淳 殿

日本山岳会会員 加藤真美
(会員番号 16472)

来たる令和4年度通常総会にて、書面による議決権を行使するにあたり、第2号議案について「否」とした理由は下記の通りです。

記

理由1. YOUTH CLUB 委員会の決算内容が把握できない。

令和4年度通常総会（資料）33ページによりますと、YOUTH CLUB 委員会の事業費は1,058,000円となっておりますが、内訳が把握できないため、当該第2号議案については、賛成することができません。

以上

2022年6月6日

令和4年度通常総会に関する要望書

公益社団法人 日本山岳会
会長 古野 淳 殿

日本山岳会会員 加藤真美
(会員番号 16472)

来たる令和4年度通常総会での第1号議案、第2号議案および報告事項において、下記を実施して頂きますようお願い申し上げます。

記

要望1. 令和3年度に実施(予定)された講習の理由説明

本要望書と同日提出した「令和3年度通常総会に関する理由書 その1」に3月、WV部員を対象に、雪崩講習会を谷川岳で実施」および「2月、青年部員対象にアイスクライミング講習会を予定したが、外部委託した講師の不調により中止となった」について、WV部員や青年部員全員に対して公平に企画および募集されたものであるかどうかについて、ご回答頂きます様、お願い申し上げます。

また、これらの講習会の受講がその後、WV部や青年部の活動に対して、どのように展開および有効化されるのかについて、方法論も合わせて、お聞かせ頂きます様お願い申し上げます。

特に、アイスクライミングは、年に一度、体験会のように受講しただけでは体得できる技術ではないことは、ご周知の通りです。毎年、同じ特定会員が同じ内容の講習を繰り返し受講する状況を作り出さない工夫について、お聞かせ頂きますよう、お願い申し上げます。

要望2. YOUTH CLUB 委員会の決算書の公開

昨年通り、同日提出の「令和4年度通常総会に関する理由書 その2」にある通り、YOUTH CLUB 委員会の決算書を公開して頂きます様お願い申し上げます。昨今、YOUTH CLUB 委員会では一部会員による私物化が「現在も」あるのではないかと耳にしております。このような噂を払拭して頂くためにも、YOUTH CLUB 委員会の決算書を公開頂くことは有効であると考えております。

要望3. YOUTH CLUB 委員会の令和2年度事業費実績の理由説明

昨年、YOUTH CLUB 委員会の決算書の公開に際し、ご丁寧に補足回答をして頂き、誠にありがとうございました。

しかし、せっかくのご丁寧な回答に対して応答する機会が、今年度の総会まで1年を待つ必要があったようですので、この場をお借りし、前年公開された「YOUTH CLUB 委員会 事業実績」について、応答させていただきます。

(YOUTH CLUB 委員会 事業実績全体について)

昨年のご回答の中で「ユースクラブ委員会ができて以来、メンバーの構成人数によって予算を決めてきたわけでもありません」について、例えば、「自治体の規模に合わせて地方交付金の額を決めてきたわけでもありません」という国会の答弁があったとしたら、「納税者が納得いくかどうか」という視点と同様にお考え頂き、予算額を決定して頂きます様、お願い申し上げます。

(管理業務委託料 480,000 円について)

他の内容に比べて突出しているものの、担当理事が「委託は妥当」と判断され、その<<委託内容>>は以下の通りとされています。

- (1) ユースクラブの名簿の維持および管理
- (2) ユースクラブ主催登山講習会等の参加者管理
- (3) ワンダーフォーゲル部員の緊急連絡先の維持及び管理
- (4) ワンダーフォーゲル部員の山行予定（月例、他）の管理
- (5) ワンダーフォーゲル部員の山行報告（月例、他）の管理
- (6) その他上記に付帯する業務

他の委員会でも同じような管理業務があり、会員の自主性に基づいて実施されていることを鑑みると、この程度の<<委託内容>>で、予算の約半分を人件費に充てる正当性があるかどうかを、是非とも担当理事の「理論的意見」に基づいて見直しをして頂きます様、お願い申し上げます。

なお、<<委託内容>>のうち、(3) — (4) は、ワンダーフォーゲル部に対して行われており、学生部や青年部に比して「なぜワンダーフォーゲル部に手がかかってしまうのか」を、是非とも見直して頂きます様、事業費の適正利用に努めて頂きます様、お願い申し上げます。

(トランシーバー、ビーコンなど消耗品購入 324,090 円について)

トランシーバーやビーコンを必要とする者は、個人が個人装備として所有すべきものであるにも関わらず、会として購入せざるを得なかった理由につい

て、お聞かせ頂きます様、お願い申し上げます。

また、これらの消耗品の利用状況、管理体制および管理方法について、詳しくお聞かせ頂きます様、お願い申し上げます

(ファーストエイド講習会費用 42,825 円、冬山気象講習会費用 22,000 円、雪崩業務従事者講習参加者補助 98,300 円、計 163,125 円について)

会員、特に若年層会員の育成のため、各種講習会が行われることは大変喜ばしいことと思います。しかしながら、上記要望 1 に記載の通り、これら各種講習会の案内や募集が全会員に公平的に行われていないのではないかと懸念しております。つきましては、これら各種講習会の案内や募集の形態について具体的にお聞かせ頂きます様、お願い申し上げます。

要望 5 DM 委員会への予算増額

昨今、特に若年層に対して、情報発信や会員募集において、インターネットを利用した発信力の強化がますます重要となるなか、本会は、会員の有志に頼って、デジタルネットワーク環境の整備している関係上、技術革新が著しく進むデジタルネットワーク環境に、対応しきれていないのが現状です。

デジタルネットワーク環境の整備をタイムリーに対応するための作業については、外部に業務委託することを早急に求めるべきと考え、そのためにも、DM 委員会の予算増額を要望いたします。

上記要望 1 - 5 に関連することですが、事業費は、削るべきところは削って頂き、必要などころには適切に予算投入をして頂きます様、お願い申し上げます。

以上